

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大きな樹			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日 ～ 2025年 3月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団での活動に力を入れている。 ・異年齢児童の交流の機会が多い。	・異年齢集団中で児童同士のつながりを育んでいけるように支援を行う。 ・児童同士の交流を大切にし、互いに意識し、思いやりや譲り合いの心を育てるよう見守りを行う。	・児童同士が積極的に関わられるような環境づくり・活動作り、児童同士が協力しながら参加できる活動（レクリエーション、制作調理活動等）の機会を増やす。
2	・屋外での活動に特化している。	・屋外活動による五感への刺激 ・公園遊具や山道の散歩等で健やかな身体作りを促す。 ・交通ルールや出先でのマナーを学ぶ等、地域社会にふれる機会を作る。	・外出先で様々な遊びの提供を行う。 ・児童が安全に楽しくすごせる場所を探していく。
3	・サービス提供時間が長い。	・サービス提供時間を長めに設定している。特に学校休業日は8：30～17：30までとし、保護者の預かりニーズにも対応できるようにしている。 ・活動内容も午前、昼、午後、夕方とメリハリをつけ、児童が一日楽しくすごせるよう工夫している。	・今後も保護者のニーズに応えられるよう検討していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所～家庭間の送迎が対応できていない。	・送迎に対応できる職員数また車両の確保が難しい。 ・送迎時間を考慮すると、サービス提供時間が短くなる。	・送迎に対応できる職員数また車両の確保。 ・活動内容や時間の見直し。 ・保護者の送迎ニーズの確認。
2	・保護者会の開催頻度が少ない。	・定期的に行っていた保護者会がコロナ禍を機にできなくなっている。	・事業所の見学等開催し保護者同士で話をできる機会を作っていく。 ・開催日や時間等日程調整を行い、より多くの方が参加できるよう検討していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 大きな樹

公表日 2025年3月25日

利用児童

数 13

回収数 11 (85%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2	0	0		人員配置基準に合わせて職員配置を行っています。次年度も引き続き職員募集を継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	0	0		児童が安全・快適にすごせるような環境整備に配慮していきます。床や備品等の経年劣化などに対応し随時し施設修繕を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	1		室内や送迎車内は活動の前に清掃、アルコールや次亜水等使用し消毒しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	0		定期的に職員会議等行い、児童やご利用ご家族のニーズ確認、情報共有に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	1		今年度の支援計画更新の際に、支援プログラムについてご説明させていただきました。次回更新の際や保護者会の中で再度ご説明させていただく機会を作りたいと思います。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	0		屋外活動も公園遊具だけでなく、博物館や科学館見学、ショッピングモール等の商業施設での買い物体験等組み込んでいます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	4		近隣の公園や施設等で、地域児童や他の放課後等デイサービス事業所の児童と一緒に活動する機会がありますが、コロナ禍移行は計画的な交流会等は実施できていません。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	1		支援計画更新の際に丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	1		昨年は保護者会の活動が停滞しまい誠に申し訳ありません。次年度の課題とさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	0	2	・行事等で年に一度でも保護者の皆が集まれる場所があるとよいかと思います。 ・設問のきょうだい同士の交流については無くて大丈夫です。	今年度は事業所見学会等実施させていただきました。次年度は保護者会を開催し、利用ご家族同士の交流が図れる機会を作りたいと考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2	0	0		お困りごとなど何かあれば職員までいつでもご相談ください。職員に話づらいようであれば、事業所の玄関入口に法人の相談窓口も掲載しておりますのでご確認ください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	0		引き続き個人情報の取り扱いに注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	1		下記の緊急時の対応も合わせて、次年度周知徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	0	3	災害時や緊急時の対応をわかりやすく示してくれると助かります。	緊急時（学校や事業所）の対応について保護者会等で再度みなさんと確認を行っていきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		大きな樹		公表日		
				2025年 3月 25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		訓練室は大小（フローリング・畳）2部屋あり、活動スペース、静養スペース等、用途に合わせて使用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を下回ることがないように職員を配置しています。	人材確保に向けて求人サイト等を使用して職員募集をしていますが、新規採用は難しい状況になっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		基本段差のないバリアフリー設計です。玄関には手すり・スロープ等も設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		室内や送迎車内は活動の前に清掃、アルコールや次亜水等使用し消毒しています。	児童が安全・快適に過ごせるような環境整備に配慮していきます。床や備品等の経年劣化などに対応し随時し施設修繕を行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	特に個室はありません。	児童が体調が悪い場合等は訓練室を仕切って静養できるスペースは確保して対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議を定期的に開催し、直近の児童の様子や支援についての振り返り、今後の予定等話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		結果の公表は書面での配布、事業所内掲示、ホームページ掲載を予定しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議内で情報共有や意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は現在行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		動画視聴型の研修に登録し、虐待防止や児童の発達に関する研修等を定期的に行っています。法人内部でも勤務年数などに応じた研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域を網羅し、大きな樹の活動の特性を活かしたプログラムを作成し今年度面談の際に保護者に配布また法人ホームページに掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児童や保護者のニーズについて、日々の活動を振り返り、面談や職員会議の中で確認し作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童や保護者のニーズについて、日々の活動を振り返り、面談や職員会議の中で確認し作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画については職員会議で共有を行っています。	
	15	こどもの適切な行動の状況等、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		面談等で確認した内容や情報を整理して記録している。アセスメントシート等の様式を法人内で標準化していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援、家族支援は従来通り利用児童保護者に向けた支援内容を設定している。移行支援、地域連携支援については、当事業所だけでなく、児童が通う学校や相談支援事業所と協力していくう支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容については職員間で話し合いながら充実したものになるよう努めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		屋外活動は天候にも左右されてしまいますが、様々な体験ができるようにプログラムを組んでいます。	児童との関わりの中で、どのような活動が療育に繋がるかを考えながら活動内容を検討していきたいと思っています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動を中心に活動を展開し支援を行っています。送迎前後や食後等は個別活動の時間を設け支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	活動内容、役割担当等を伝え確認しています。	長期休暇1日開所の際は、（早番遅番のように）職員の出勤時間をずらして対応しているため、事前の確認が難しい状況にあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援内容やその日気づいた点等を確認しています。	長期休暇1日開所の際は、（早番遅番のように）職員の出勤時間をずらして対応しているため、事前の確認が難しい状況にあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		職員全員でケース記録をとり、気になった点等は振り返りを行い、今後の支援につなげるようしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適宜モニタリングを行っています。児童の様子は日々変化しているため、定期的な見直しは必要と感じています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		異年齢の集団活動（日常生活の充実）、制作や調理（創作活動）、公園や公共施設等の活用（地域交流）、学校休業日の外出（余暇）等、組み合わせ活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童が自分で考えて、相手に伝えられるように声かけや間を大事にしています。	言葉でのコミュニケーションが難しい児童に対しては、絵カードやあいうえお表を用いる等、児童一人ひとりにあった方法を今後も検討していきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所や学校での担当者会議には積極的に参加しています。	放課後等、開催時間等によっては複数名の職員による参加は難しい状況にあります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		何かあれば協力医療機関に相談できる体制となっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時に担当共有と情報共有させていただいています。伝え漏れがあった場合は、児童の連絡帳に記載していただくよう保護者をお願いしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	ここ数年はそういった機会がありませんでしたが、今後とも他事業所との連携・情報共有に努めていきたいと思っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		在学中から相談支援事業所を利用する児童も増えてきたため、卒業後初回の担当者会議等に参加させていただく機会があります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	現在はそのような機会はありません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣の公園や施設等で、地域児童や他の放課後等デイサービス事業所の児童と一緒に活動する機会がありますが、コロナ禍移行は計画的な交流会等は実施できていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		今年度より児玉郡市の自立支援協議会こども部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃からコミュニケーションを大切にしています。保護者との連絡を密に行い、話しやすい関係づくりに努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族支援は計画に設定していますが、家族向けの研修等の取り組みは行っていません。	次年度は保護者会を開催し、その中で研修を行えるかどうか検討していきます。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際に説明を行っています。簡潔に分かりやすい言葉を使用してお伝えできるよう配慮しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別面談で児童や保護者、ご家族の意向を確認しています。児童の意思を尊重できるように今後も支援力向上に努めていきます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画更新の際に丁寧な説明を心がけていきたいです。今年度は5領域を含む様式変更もあり、面談の際に個別に確認させていただきました。内容の確認後に計画に同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者から児童のことで相談があった場合は、迅速に対応できるよう心がけています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	事業所見学会等行いましたが、保護者の方に集まっていただく機会はあまり作ることができませんでした。次年度の課題とさせていただきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応の担当者を配置し、苦情やご相談があった場合は適切に対応できるよう心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		歩む会福祉会のホームページブログや事業所の広報誌「青空つうしん」の発行を行っています。事業所インスタグラムの更新も随時行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報の取り扱いについては個人情報使用同意書に基づき留意しながら行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日頃からコミュニケーションを大切にしています。保護者との連絡を密に行い、話しやすい関係づくりに努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。		○	地域のお祭り行事には参加させていただく機会がありますが、今年度は事業所の行事に地域の方たちを招待する機会はありません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、職員会議や個別面談時に周知しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、職員会議の際に確認また訓練を行っています。	計画内容については引き続き検討を行い、非常災害時等に現実的に使用できる内容にしていきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約の際に服薬内容や発作の有無、発作時の対応方法等について確認しています。	緊急時など必要とされる情報を整理し、直近の服薬状況について確認していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約の際にアレルギーの有無について確認しています。気になる事案があった場合は協力医療機関に相談できる体制をとっています。現在は食物アレルギーを持つ児童の利用はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し各マニュアルの整備を行っています。必要な措置を講ずるとともに適宜見直しなどを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全計画を作成していますが、利用ご家族に対する周知は不十分であると感じています。	次年度は面談時や保護者会を開催し、特に緊急時の対応や災害時の対応についての共有を図っていききたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについては職員会議等で共有を図っています。また今後の対応についても話し合いを行っています。	業務日誌等にヒヤリハット事案メモをとれるように欄を設ける等しています。とっさの出来事など記入漏れに注意していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、法人内で虐待防止に向けた研修や、職員向けのチェックリストの実施、啓発ポスターの掲示等行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束等適正化検討委員会を設置し、法人全体で身体拘束解除に向けた検討を行っています。現在該当事案はありませんが、身体拘束を行う場合は同意書や記録、支援計画への掲載を行います。	